

**コンゴ(民)経済情勢
月例報告
2016年11月**

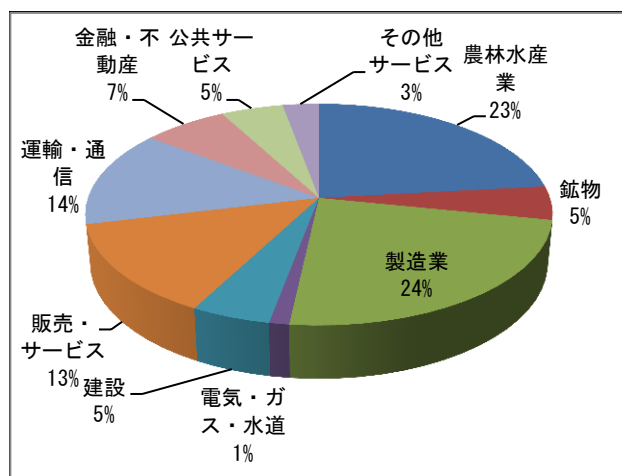
主な出来事

- カナダの鉱物企業 Lundin Mining 社がテンケ・フングルメ鉱山社(バミューダ諸島登記)に所有する権益を中国企業 BHR Partners に売却することを決定した。コンゴ(民)の三大銅鉱山の一つである「テ」鉱山に対する中国の支配が一層強まることとなった。
- 資金繰り悪化により、BCC(コンゴ中央銀行)による経営再建計画中のBIACの売却先として、中国系の China Taihe Bank of Congo が第一候補に挙げられている。BIACの買収企業は買収承認費用として資産の1%(10万ドル)およびTVAを加算した11万6,000ドルを支払う必要がある。
- ヤブ財務大臣は2015年の会計法案を提出した。会計検査院は予算執行における、予算超過や誤りを指摘し、国民議会議員は政府の予算法の不遵守を非難した。

	主なマクロ経済指標	2015年	2016年11月
1	人口(百万人)	74.88	-
2	失業率(%)	NA	-
3	実質 GDP(百万ドル)	22,947.33	-
4	名目 GDP(百万ドル)	37,393.23	-
5	一人当たり GDP(ドル)	524.16	-
6	GDP 成長率(%)	7.7	-
7	インフレ率(%)	1.37	6.1%(2016年目標 4.2%)
8	貿易収支(百万ドル)	550.89	-
9	輸出(百万ドル)	10,325.28	-
10	輸入(百万ドル)	9,774.54	-
11	対外直接投資(百万ドル)	498.13	-
12	対内直接投資(百万ドル)	918.00	-
13	外貨準備高(百万ドル)	1,405.06	863.00 (輸入 3.82 週間分)
14	対外債務残高(百万ドル)	NA	-
15	為替レート(対ドル)	925.99	1150.00
16	主要政策金利(現行、年利%)	2.00	7.00

(2015年データ出典:コンゴ(民)中央銀行(ただし人口のみ世銀2014年))

GDP セクター別構成比(2015年)



(出典: OECD African Economic Outlook 2015)

経済

1. 市場（鉱物・資源関係）

（1） テンケ・フングルメ鉱山：加企業による権益売却

カナダの鉱物企業 Lundin Mining 社がテンケ・フングルメ鉱山社（バミューダ諸島登記）に所有する権益を中国企業 BHR Partners に売却することを決定した。同じく「テ」鉱山社に権益を保有していたフリーポート・マクモラン社は、5月に中国企業のチャイナ・モリブデン（洛陽ラン川モリブデン業集団：CMOC）に26億5000万ドルで売却することで合意しており、コンゴ（民）の三大銅鉱山の一つである「テ」鉱山に対する中国の支配が一層強まることとなった。（15日付けAFPなど）

（3） テンケ・フングルメ鉱山：ジェカミン社の立場

カナダの鉱物企業 Lundin Mining 社による中国企業への権益売却が発表されたことを受けて、国営鉱物企業のジェカミン社は、自身がテンケ・フングルメ鉱山の権益の20%近くを保有し、先買権を有しているとして、同取引に反対する声明を出した。ジェカミン社はテンケ・フングルメ鉱山事業において、新しい企業との共同事業を望んでいない。（16日付け Jeune Afrique など）

（3） 中国企業の違法金採掘と武装勢力への資金提供：南キヴ州

金の違法採掘及び同州で活動する武装勢力に対して資金協力や銃・無線機器等の配布を行っていた旨糾弾されている中国企業の Kun Hou Mining 社であるが、イギリスのNGOである Global Witness が新たな証拠を発表した。Jeune Afrique は、2016年5月に撮影されたと見られる写真を入手したが、その写真では Kun Hou Mining 社の責任者である仏人フランク・メナル氏と中国人労働者及び地元武装勢力メンバーが写っている。（25日付け Jeune Afrique）

2. 市場（インフラ・農業・投資・金融など）

（1） エチオピア航空：ブジュンブラ・ゴマ

10月31日、ブルンジのブジュンブラと北キヴ州ゴマ間の航路が開通した。就航式にはパルク北キヴ州知事、チサンボ南キヴ州知事などが出席した。当航路は約15分で両都市を繋ぎ、ブジュンブラ経由でエチオピアのアジス・アベバへ繋がる。（2日付け Radio okapi など）

（2） コンゴ郵便・電気通信会社（SCPT）：光ファイバー事業

キンシャサ・カタンガ間の光ファイバー設置事業におけるずさんな資金管理を批判されていたムセンテ SCPT 総裁は、自身の職を3ヶ月間停止することを発表した。（3日付け

Radio okapi など)

(3) B I A C : 売却先候補

資金繰り悪化により、B C C (コンゴ中央銀行) による経営再建計画中の B I A C の売却先として、中国系の China Taihe Bank of Congo が第一候補に挙げられている。B I A C の買収企業は買収承認費用として資産の 1 % (10 万ドル) および T V A を加算した 11 万 6, 000 ドルを支払う必要がある。(7 日付け le potentiel)

(4) ホテル・メモリン : 売却

ベルギー紙のル・ソワールによると、ベルギーのサベナグループによりキンシャサで運営されているホテル・メモリンがこの度売却される予定であると報じている。売却額は 1 6 5 0 万ユーロである。買収にはコンゴ人実業家および国外から興味が示されている。(9 日付け Radio okapi)

3. 財政・マクロ経済・行政など

(1) 中国系製薬会社 : 事業停止命令

製薬および栄養補助食品の流通事業を行っている中国系の製薬企業 S O P A V が、事業の一時停止を発表した。同社は保健省より関連規範の不遵守を理由に事業所を閉鎖されていた。同企業は中国から流通する医薬品及び栄養補助食品の大半を取り扱っていた。(4 日付け A C P)

(2) 会計法案 : 計算書の提示

10 日、ヤブ財務大臣は 2015 年の会計法案を提出した。会計検査院は予算執行における、予算超過や誤りを確認し、国民議会議員は政府の予算法の不遵守を非難した。(11 日付け A C P)

(3) トロイカ戦略会合の要旨

21 日に催された、首相以下、予算大臣 (国務大臣兼任)、国家経済大臣、財務大臣、中央銀行 (B C C) 総裁等が出席するトロイカ戦略会合の主な内容は以下のとおり。なお、マタタ首相が指揮する最後のトロイカ会合であった。

インフレ率

2016 年度目標 4. 2 % に対し 6. 1 %、キンシャサ市では 6. 3 %

対ドル為替市場

銀行間レート 1, 150. 00 コンゴ・フラン、
市中レート 1, 210. 00 コンゴ・フラン

外貨準備高

8億6, 300万ドル、輸入額の3. 82週間分

政策金利

7%

4. 対外関係・その他

(1) ンジリ空港：金押収

10月26日深夜、ポーランド人により不法に国外に持ち出されようとしていた金631グラムがンジリ空港で押収された。(4日付けACP)

(2) 対中関係：11州の副知事の中国訪問

コンゴ(民)の11州の副知事(Vice-gouverneur)が、コンゴ(民)・中国シンポジウム出席のため、北京に出発した。カウンバ・ルフンダ副首相兼内務大臣付官房長を代表団長としている。(14日付けACP)

5. 対日経済・開発協力関係

(1) 草の根無償資金協力：キンタンボ総合リファラル病院整備計画

4日、キンタンボ病院第8病棟改修にかかる事業(8万2千ドル)の、草の根無償資金協力の署名式が執り行われた。同病院はキンシャサ市内において、患者の治療件数の点では第二位の規模を有する公立病院である。なお、キンタンボ病院に対しては2度目の草の根支援である。(7日付けForum des Asなど)

(2) 草の根無償資金協力：キンシャサ特別州近郊保健地区ソーラーランタン設置計画

15日、日本の草の根無償資金協力による、キンシャサ特別州近郊保健地区ソーラーランタン設置計画の引き渡し式が催された。12万7千ドルに及ぶ当事業により、日本のGSユアサ社製のソーラーランタンがキンシャサ近郊の保健地区に設置された。(16日付けL' Avenirなど)

(3) UNDP事業引き渡し式：南ウバンギ州

5日、日本の支援により、UNDPが南ウバンギ州で実施している「南ウバンギにおいて紛争の影響を受けたコミュニティの安定化と再統一のための緊急対応」事業の引き渡し

式が、同州クングで催された。平和の定着および脆弱な人々の再統合に貢献する300万ドルの事業である。21ヶ月間の事業期間において、行政インフラの改修、性的暴力の被害にあった女性のための司法機能の整備などが実施された。(9日付け Observateur など)